

核兵器

なき

世界へ

映画とトークのつどい

プログラム

上映

NAGASAKI 1945 アンゼラスの鐘
ヒロシマの記憶～幻の原爆フィルムで歩く広島
アオギリにたくして

トーク

有原 誠治（『NAGASAKI 1945 アンゼラスの鐘』監督）
斉藤 とも子（女優）
森 容香（枚方市原爆被害者の会・会長）

パフォーマンス

ケイ・シュガー（シンガー・ソングライター）

核兵器なき世界へ

映画とトークのつどい

エルおおさかホール

12.1SAT 13:30 - 20:00閉会予定 (13:00 開場)
※自由な時間帯にどうぞ

参加協力費 1000円（障がい者、高校生以下無料）

後援：朝日新聞社

お問い合わせ：「ヒパクシャ国際署名推進・大阪の会」事務局 大阪原水協 Tel (06) 6765-2552 FAX (06) 6765-2837
寝屋川市原爆被害者の会 寝屋川市立福祉センター内 Tel (072) 838-0171

想像してみませんか。 もし核兵器が使われたときのことを

地球上に 14,000 発以上が今もなお残されている現実。
しかし、昨年の禁止条約によって私たちに核兵器のない世界へ一筋の光が見え始めた



『NAGASAKI 1945 アンゼラスの鐘』※字幕付き

被爆した長崎浦上第一病院で働いていた医師・秋月辰一郎氏の著書を参考文献として制作された長編作品。2007年10月25日には日本政府国連代表部、国連軍縮部、NGO 軍縮の共催でニューヨークの国連内での上映が実現しました。多くの資料のもと視覚的にリアルに再現された原爆投下の様子は、戦争・死・放射能の恐怖と共に「平和の尊さ」と「核兵器の廃絶」を強く訴えます。俳優の小林桂樹さんがナレーターとして参加他、筑紫哲也さん・吉永小百合さんなど多くの賛同・支援により完成した作品。

『ヒロシマの記憶～幻の原爆フィルムで歩く広島』※字幕付き

1945年、原爆が投下されて2か月。焦土の風景と苦しむ被爆者は日本人の手によって撮影されました。当時、日本映画社のスタッフが撮影したフィルムには治療を受ける人々や医師と看護婦、焼き尽くされた建物、ガレキに埋まる町の様子が映し出されています。このフィルムは1946年「広島・長崎における原子爆弾の効果」という映画となって海を渡り、米軍の教材になりました。

『アオギリにたくして』※字幕付き

「アオギリの語り部」と呼ばれ、広島平和記念公園にある被爆したアオギリの木の下で子どもたちに被爆体験を語り続けた被爆者の故・沼田鈴子さんをモデルに、原爆で片脚を失い、婚約者にも戦死されてしまった女性が、絶望のどん底から這い上がり、平和の語り部として生きる決意を抱いていく姿を描いた人間ドラマ。広島で被爆したアオギリの苗を植樹する活動を広めた田中節子という女性に興味を抱いた雑誌ライターの小桐千草は、取材中に知り合った節子の妹から節子がつづった日記を預かるが、そこには原爆で脚を失った女性の苦しみと克明に記録されていた。

NAGASAKI 1945 アンゼラスの鐘



©虫プロダクション

ヒロシマの記憶 幻の原爆フィルムで歩く広島



©岩波映像株式会社

アオギリにたくして



©株式会社ミュージアの里

トーク



有原誠治 (『NAGASAKI 1945 アンゼラスの鐘』の映画監督)

監督したアニメーション作品に、長編「うしろの正面だあれ」「えっちゃんのせんそう」「ライオンツリー」の歌。短編に「つるのついで」「鬼がら」「越後のむかし話 あったてんがのお」他。ドキュメンタリー作品に「原爆症認定集団訴訟の記録おひるる」「一歩でも二歩でも 2015国民平和大行進」など。演出業のかたわら、長年に亘って映像文化関連産業労働組合の委員長を務めた。現在は、2007年に立ち上げて毎年開催している「被爆者の声をうけつづ映像祭」の代表を務める。



斉藤とも子 (『アオギリにたくして』女優)

兵庫出身。TVドラマ「明日への追跡」でデビュー。「青春ど真ん中」「ゆうひが丘の総理大臣」の生徒役で人気を博す。TV「若い広場」のマイブックコーナーで、17歳から3年間著名な作家等の聞き手を務める。舞台は「父と暮せば」など。映画、講演、朗読も多数。著書「きのご雲の下から、明日へ」で日本ジャーナリスト会議・市民メディア賞受賞など。社会・介護福祉士、神戸親和女子大客員教授。



森容香 (被爆者『枚方市原爆被害者の会』会長)

5歳の時、爆心地から1.8キロの広島市楠木町で被爆。家の下敷きになり、10キロ近く歩いて避難した。母からは、差別されないためにも「被爆したことを口外するな」と口止めされた。被爆体験の語り部として、また2016年から現職として活躍中。

ピアノ演奏



ケイ・シュガー「ピアノ弾き語り」

大阪の地方紙記者として働きながら、2004年秋、ピアノの弾き語りをはじめたシンガー・ソングライター。戦火で両親を失った中東の少年への思いを綴った「ミシェルへの誓い」は地元放送局で毎日流されました。オリジナル曲には高齢者へのラブソング「朝の風と光につままれて」、小学校の音楽教材にもなり、子どもからお年寄りまで幅広く愛唱されている。「間違えたっていいじゃないか」など多数。

タイムスケジュール

13:30	開会
13:40	NAGASAKI 1945 アンゼラスの鐘 (80分) & 有原誠治トーク
15:35	ケイ・シュガー ピアノ弾き語り ～愛と平和をうたう～
15:50	ヒロシマの記憶 幻の原爆フィルムで歩く広島 (35分) & 森容香トーク
17:20	斉藤とも子トーク & アオギリにたくして (100分)
19:40	ケイ・シュガー ピアノ弾き語り ～愛と平和をうたう～
20:00	閉会

会場 エルおおさかホール
〒540-0031 大阪市中央区北浜東 3-14

日程・時間 12.1土 13:30-20:00 閉会予定 (13:00 開場)
※自由な時間帯にどうぞ

参加協力費 1000円 (障がい者、高校生以下無料)

「ヒバクシャ国際署名推進・大阪の会」事務局 大阪原水協
Tel (06) 6765-2552 FAX (06) 6765-2837

お問い合わせ 寝屋川市原爆被害者の会 寝屋川市立福祉センター
Tel (072) 838-0171

